



# 滝内歯科医院

医院たより

〒660 - 0871 尼崎市建家町 77 番地

TEL 06-6412-6480

<http://www.takiuchi6480.com/index.html>



夏の夜空を彩り、ひとときの余韻とともに一瞬にして消え去る美といえば「花火」。

ドーンと言う大きな音と共に夜空に花咲く色とりどりの輝きには、心が躍りワクワクしてしまいますよね(´▽`\*)

日本人で最初に花火を見たのは徳川家康と言われ、また飢餓とコレラの死者を弔うために、両国の川開きに花火を打ちあげようと命令を出したのは『暴れん坊将軍』のモデルになっている八代将軍徳川吉宗と言われています。

花火と歴史が深い日本。しかし、日本よりも歴史が深いのはヨーロッパの花火です。

ヨーロッパでは16世紀には花火が打ち上げられていたそうです。

ただし、花火の構造が違い日本は丸い花火玉を打ち上げますが、ヨーロッパは筒型のシリンダータイプ。貴族が城の中で打ち上げたので高度が低いそうです。

面白いのは、“音”に対する感覚。日本では花火が爆発する音だけを楽しむということはありませんが、特にイタリアやスペインでは大きな音がしないとブーイングが来ます。

轟音(ごうおん)だけを競うコンテストもあるそうですよ ヽ(@`∞)`@)ノ

お国が違うとこんなにも花火が違うとは！機会があれば海外の花火も楽しんでみては？

## 歯医者だけが知っている…!? 歯にまつわる いろいろ話

立派な前歯が印象的な“お馬さん”も、人間同様「むし歯」や「歯周病」になることがあります。

さらに、競馬の出走馬となれば、歯の健康しだいで勝敗を分けることも十分にあるそうです。

実は、馬の歯の生え代わり時期でもある“4歳”には、競馬界の一大レースである「菊花賞」「皐月賞」「ダービー」が待っています。もし歯の調子が悪くて食欲や集中力が低下すれば、レースで競走馬が力を発揮するのは難しいでしょう。そのため調教師たちは、馬の健康管理のひとつとして歯のチェックを欠かさないそうです。よくあるトラブルの1つとして、年齢を重ねるにつれて歯の両サイドが尖ってしまい、口の中が傷ついて食欲がなくな

## 競走馬の勝ち負けは “歯の健康” と関係する!?

なってしまうケースがあります。そのような場合は、獣医がヤスリで歯を削って噛み合わせを調節するそうです。歯を定期的に削って歯間に詰まった食べ物を取り除くことは、むし歯や歯周病の予防にもなるそうです。

馬をはじめとする草食動物は、食べ物をすり潰して食べるため、歯の減りが激しく、馬は1年間に2ミリほど歯が減ってしまうため、歯を見れば馬の年齢がわかるそうです。

また、アゴが発達している馬や、前歯の先端がきちんと合っている馬は食欲も旺盛なんだそうです。競馬を楽しまれる方は、今度、馬の歯にも注目してみたいはいかがでしょうか？

